

マイ
毎

毒

十 = 草 母なる大地の恵みを受けて“草が生
い茂る”という意味の字。

しげる(本義)茂るは重るの意

重なる

重ねる

バイ
梅

楳の仮借、楳の本字は某、甘い実のなる木の意

うめ 例 白梅・梅花

カイ
× 誨

言(ことば)を重ね、ねんごろに教える

おしえる 例 教誨・誨告

カイ
× 晦

日が茂った草に隠れて暗い

くらい 例 晦冥・昏晦

月のない暗夜(みそか) 例 晦日

カイ
海

晦冥なる海原(海は深くて暗い)

うみ 例 海洋・海水

注 海は深くて暗いので“溟”とも言う。南溟は南方の海、南海と同義。

カイ
悔

悪いことをして心が暗いこと

くやむ 例 後悔・悔悟

問 次のことばの読みと意味を問う。

晦渋 誨言 悔悟

答 カイジュウ・暗く渋いしぶの意で、文章がわかりにくいこと、物事がうまくいかないことを言う。 カイゲン・教えさとすことば。 カイゴ・あやまちに気づき、残念に思うとともに、二度とあやまちを犯さぬよう反省すること。